

トビウオ通信 (3月号)

<http://www2.pref.shimane.jp/suisi/> (TEL 0855-22-1720)

《平成 13 年島根県漁業の動向》

今月は漁獲管理情報処理システム（TACシステム）により集計した県下主要 13 漁協の漁獲統計資料（属人）から、最近 4 年間の島根県漁業の動向を取りまとめました。漁業種類にもよりますが、島根県の属人統計（農林統計）の約 85% が集計対象となっています。

1 魚種別漁獲量と生産金額

図 1、2 に平成 10 年から 13 年の魚種別の漁獲動向を示しました。漁獲量は平成 10 年の 17 万 2 千トンから平成 13 年の 7 万 7 千トンまで 3 年連続で減少しています。生産金額は平成 11 年以降減少し、平成 13 年は約 170 億円となっています。魚種別に見ると、平成 10～12 年に 4 万トン前後で安定していたカタクチイワシが、平成 13 年には 10 分の 1 まで減少しています。マアジは平成 11 年に漁獲量が大幅に減少しましたが、生産金額の方は安定しています。また、漁獲量ではあまり大きな割合を占めないものの、ブリ、スルメイカ、ケンサキイカ、ソウハチは生産金額では比較的大きな割合となっています。

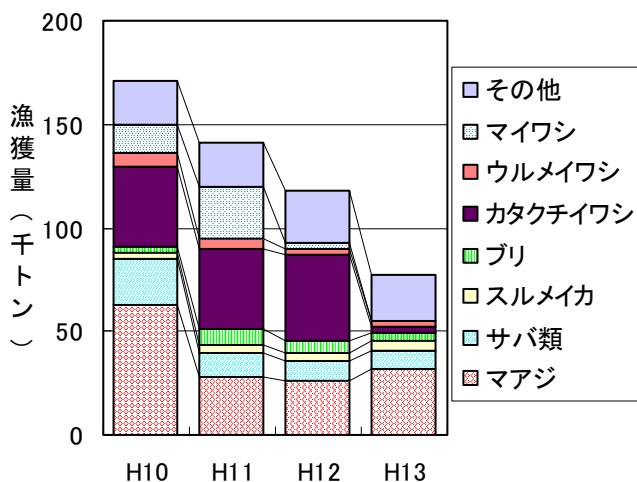


図 1 魚種別漁獲量の推移

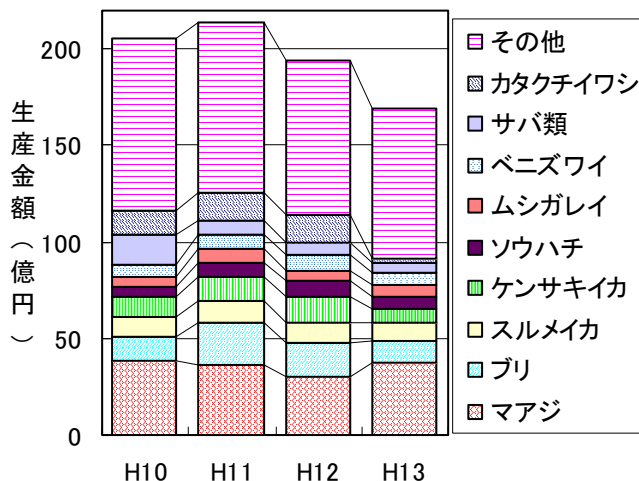


図 2 魚種別生産金額の推移

2 沖合底びき網漁業の動向

図 3 に沖合底びき網漁業（2 そうびき）の魚種別漁獲量の動向を示しました。ムシガレイ、ソウハチ、ヤナギムシガレイといったカレイ類やスルメイカ、ケンサキイカなどのイカ類が比較的安定して漁獲されていることなどから、総漁獲量は僅かずつですが上昇傾向にあります。また、平成 12 年に急増したアカムツ（ノドグロ）は平成 13 年には平年並みの漁獲量にとどまりました。生産金額の方も 22 億円から 26 億円と比較的安定して推移しています。

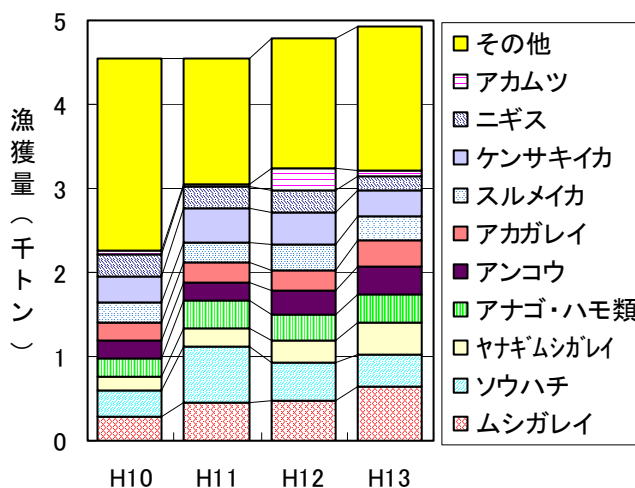


図 3 沖合底びき網の魚種別漁獲量

3 小型底びき網漁業の動向

図4に小型底びき網漁業（かけまわし）の魚種別漁獲量の動向を示しました。総漁獲量は平成10年以降ソウハチの豊漁にともない増加の傾向にありましたが、平成13年はソウハチの漁獲量が半減したこともあり前年を下回りました。また、沖合底びき網漁業と同じく、平成12年に急増したアカムツは前年の4割程度の漁獲量となっています。平成13年の生産金額はここ4年間では最低の約21億円となっています。

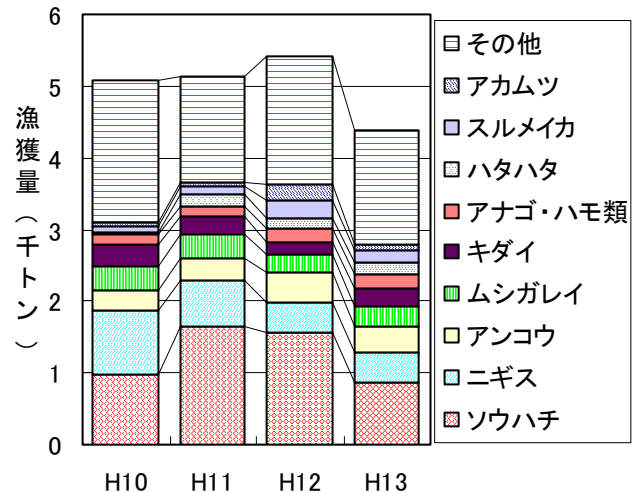


図4 小型底びき網の魚種別漁獲量

4 中型まき網漁業の動向

図5に中型まき網漁業の魚種別漁獲量の動向を示しました。平成10年以降、総漁獲量は減少を続け平成13年には5万トンを割りました。魚種別ではマアジが平成11年に、マイワシが平成12年に、それぞれ大幅に減少しましたが、平成13年はこれまで安定していたカタクチイワシまでが大幅に減少してしまいました。生産金額は毎年減少しており、平成10年が約75億円、平成13年はその3分の2の約50億円となっています。

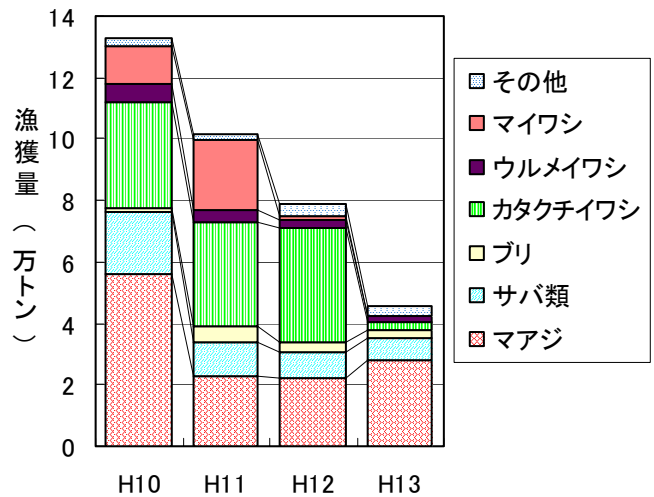


図5 中型まき網の魚種別漁獲量

5 定置網漁業の動向

図6に定置網漁業の魚種別漁獲量の動向を示しました。平成12年の総漁獲量は前年を大きく上回っていましたが、平成13年はやや減少しました。魚種別ではマアジ、ブリが4年間通じて大きな割合を占めており、サバ類は平成10年以降漸増傾向にあります。平成12年にかけて増加していたホソトビウオ（マルアゴ）、アオリイカ、スルメイカは減少しています。生産金額は平成10年の約17.6億円から毎年減少し、平成13年は約15.0億円となっています。

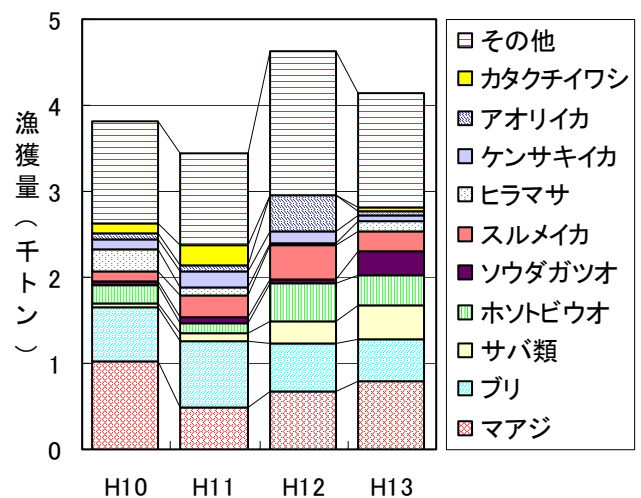
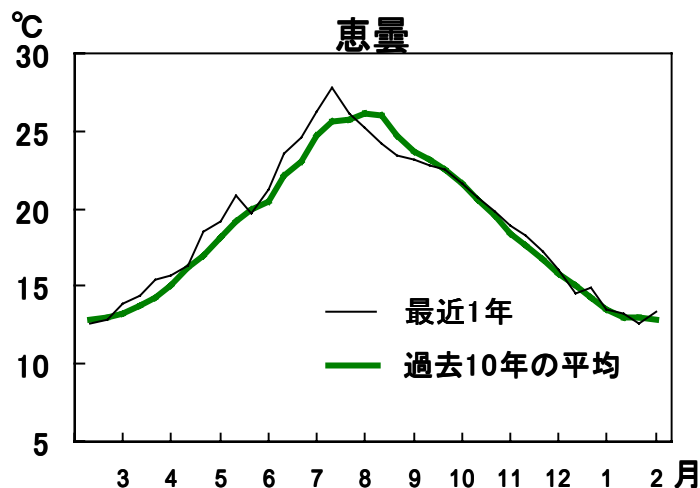
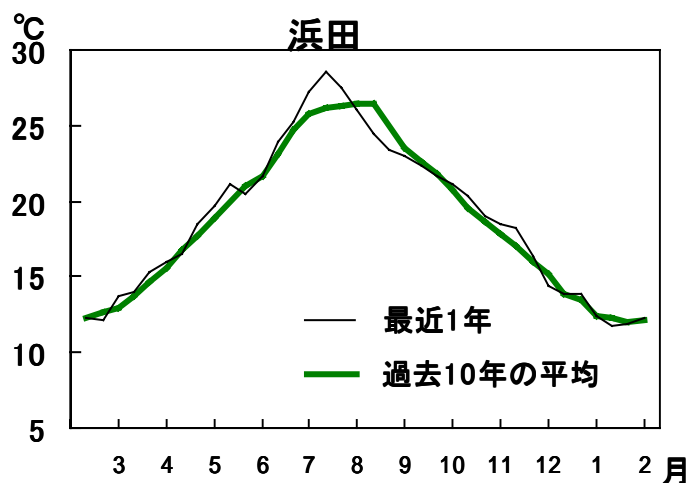


図6 定置網の魚種別漁獲量

《 2月の海況 》

2月	月平均	平年差	評価
浜田	11.9	-0.2	平年並み
恵曇	13.1	+0.1	平年並み

2月の月平均水温は1月に比べ浜田で1.2、恵曇では1.5 下降しました。浜田、恵曇とも「平年並み」の水温経過でした。



3月上旬の海洋観測結果によると、山陰沿岸域は島根県沿岸から隠岐諸島にかけての広い範囲を、水温13以上の暖かい水塊で覆われています。

冷水域は隠岐諸島の北方70マイルと北西40マイル、浜田の北西60マイル、そして隠岐諸島の北北西約120マイルにも見られます。中・底層では冷水域周辺の等温線の間隔が狭く、この潮境に沿った強い流れが確認されました。隠岐諸島の北方70マイルと北西40マイルの冷水域は、先月も観察されていますがこの時よりもやや北に位置をずらしています。

山陰沿岸海域の水温は、冷水域の周辺で「やや低め～平年並み」のほかは、ほぼ全域で「かなり高め」となっていました。

《 2月の漁況 》

【中型まき網漁業】

浜田の中型まき網の総漁獲量はサバ類・サワラ類・マアジ主体に410トン、総水揚金額は2,713万円でした。1統当りの漁獲量は102.5トンで、前年の82%、平年の28%と低調でした。水揚金額は678万円の前年の76%となりました。恵曇では、1ヶ統のみの操業で、サバ類・その他の魚類主体に総漁獲量73トン、総水揚金額は321万円でした。1統当りの漁獲量は前年の8倍、水揚金額は前年の5倍でした。浦郷ではサバ類・マアジ・カワハギ類主体に総漁獲量222トン、総水揚金額は1,675万円でした。1統当りの漁獲量は73.9トン（前年比：120%）、水揚金額は558万円（前年比：73%）となりました。各地ともサバ類が好調ですが、マアジ・カタクチイワシは低調な漁模様となっています。

【イカ釣漁業】

浜田港に水揚げするイカ釣船（5トン以上）の漁獲量は、スルメイカを中心に477トンで、前月より減少したものの前年の5倍を越える好調な漁模様となりました。一方、西郷のイカ釣船（5トン以上）の漁獲量は、スルメイカを中心に29トンで、こちらも前年の3倍程度の水揚げとなりました。しかし、前月活発な漁場が島根沖に形成されたことから、この海域での操業隻数が増加し、1隻当たりの水揚量は浜田、西郷ともに前年をやや下回っています。浜田に水揚げされるスルメイカの魚体は20入り（外套長24cm）が主体でしたが、今後はやや小型（外套長20cm前後）のサイズに変わっていくと思われます。

【沖合底びき網漁業】

浜田港の総漁獲量は356トン、総水揚げ金額は1億3,861万円、1統当たり漁獲量は59.3トン（前年比99%、平年比109%）水揚げ金額は2,310万円（前年比88%、平年比98%）でした。漁獲の中心はソウハチ（前年比241%）ヒレグロ（前年の20.4倍）スルメイカ（前年比65%）でした。

恵曇港の総漁獲量は229トン、総水揚げ金額は1億1,928万円、1統当たり漁獲量は57.3トン（前年比115%、平年比51%）水揚げ金額は2,982万円（前年比116%、平年比120%）でした。漁獲の中心はアカガレイ（前年比135%）でした。

【小型底びき網漁業】

和江、大田市漁協とも、出漁日数が前年より増加したため漁獲量は前年を上回りました。一方、水揚げ金額は大田市漁協では前年を10%上回りましたが、和江漁協ではわずかに下回りました。

両漁協ともソウハチ主体の漁であり、和江漁協では1日1隻当たり漁獲量が前年の2.5倍といった状況です。この他、両漁協ともヒレグロ、アカガレイが前年の3~8倍の水揚げがありましたが、アカムツ、ヤリイカは前年の2割程度に留まり、低調に推移しました。

【定置網漁業】

県全体では量・金額とも平年にはおよばないものの、量は前年の3倍、金額では2倍とやや好調な漁模様となっています。県東部ではスルメイカ、マアジ、カタクチイワシが、県西部ではマアジ、マルアジが、隠岐地区ではスルメイカが漁獲の主体でした。各地区ともマアジ、スルメイカ、スズキ、タコ類が好調、県東部ではカタクチイワシ、サバ類が好調です。マアジ、サバ類、カタクチイワシなどの浮魚類が前年に比べ好調なため春以降の漁に期待がもてます。

【釣・縄】

県西部ではスルメイカ、カサゴ・メバル類、アマダイを中心に量・金額ともに平年をやや上回りました。県東部ではブリ、スルメイカ、ヤリイカ、スズキが主体となっていますが、量・金額ともに平年を30%下回りました。隠岐はスルメイカ、メダイ、ブリを中心に量は平年の約2倍、金額は平年を約50%上回りました。このように海域間差が大きくなっていますが、全体的には比較的好調に推移しました。

漁獲統計

平成14年2月1日~28日

漁業種類	水揚港	延隻数・統数	主要魚種	1隻(統)1航海当漁獲量	総漁獲量
中型まき網	浜田	32	サバ類・サワラ類・マアジ・スルメイカ	12.8ト	410ト
	恵曇	5	サバ類・その他の魚類	14.6ト	73ト
	浦郷	18	サバ類・マアジ・カワハギ類	12.3ト	222ト
イカ釣り (5トン以上)	浜田	700	スルメイカ	681Kg	477ト
	西郷	66	スルメイカ	442Kg	29ト
沖合底びき網	浜田	28	ソウハチ・ヒレグロ・スルメイカ	12.7ト	356ト
	恵曇	31	アカガレイ	7.4ト	229ト
小型底びき網	和江	434	ソウハチ	622Kg	270ト
	大田市	231	ソウハチ	470Kg	134ト
定置網	浜田	18	マアジ・マルアジ	331kg	6.0ト
	美保関	108	スルメイカ・マアジ・カタクチイワシ	327kg	35.3ト
	浦郷	86	スルメイカ	730kg	62.8ト
釣・縄	浜田	163	カサゴ類・アマダイ	76.1kg	12.4ト
	五十猛	87	スルメイカ・アマダイ	79.3kg	6.9ト

1隻(統)1航海当漁獲量は総漁獲量/延隻数・統数で算出しており四捨五入した値です。